



あびこ市民活動 ネットワーク 会報

令和 2(2020)年 1 月 15 日発行

第 52 号

発行責任者 宇野眞理子
我孫子市湖北台 4-11-16

新年のご挨拶

あびこ市民活動ネットワーク 代表 宇野 眞理子



新年おめでとうございます。
令和 2 年の幕が開けました。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

昨年は天皇即位式を皮切りに日本中がフィーバーした 1 年でした。今年は東京オリンピックの年。また応援に力が入る夏になりそうです。

我孫子市も 7 月には、市制 50 周年を迎えます。大きな節目の年にあびこの未来予想図をしっかりと描いてみたいと思います。あびこ市民活動ネットワークでは、ここ数年あびこ市民活動ステーション

と協働で、防災・子ども応援団事業を中心に実施してきました。

昨年は地域包括ケアに役立つ「日常生活困ったときガイド」の説明会や新廃棄物焼却施設について担当課との意見交換もさせていただきました。今後もリサイクルセンターの建設やごみの減量化等の問題も継続してみんなで考えていきたいと思っています。

超高齢化社会での地域づくりも大きな課題です。国も自治体も『こどもたちにつけを回さない。』とは言葉ばかりで、年々財政規模は膨れ上がっています。我孫子の財政の今後もしっかり議論を共有することが大切と思っています。皆様のさらなるご参加をお願いします。メール等でいつでもお気づきのことがあればご連絡ください。

我孫子市長 星野 順一郎



新年明けましておめでとうございます。
ネットワーク会員の皆様には、日頃から市政にご協力いただき、厚く感謝申し上げます。

我孫子市は、本年 7 月 1 日市制施行 50 周年を迎えます。この節目の年を市民の皆様と祝い、将来を担う子どもたちへ歴史や文化を継承し、ふるさとあびこへの誇りと愛着を深めていただけるよう、さまざまな記念事業を実施していきます。

7 月 4 日には、東京 2020 オリンピックの聖火リレーが市内を通ります。多くの市民の皆様の心に刻まれる聖火リレーとなるよう準備を進め、市民活動の分野では、我孫子市市民公益活動支援指針の改定を行う予定です。

改定作業に際しましては、市民活動団体をはじめ、市民活動に関わる多くの皆様と意見交換を行い、これからの市の支援施策を検討していきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

新しい年が、皆様にとりまして幸多き年になりますよう心よりお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。

もくじ

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1P ●新年のご挨拶 | 5P ●本会推薦委員報告 |
| 2P ●地域活動はじめの一步講座 分科会の活動状況 | 6P ●ボランシカ随想 会員自己紹介 会員の活動あれこれ |
| 3P ●懇談会開催のお知らせ 行政との懇談会報告 | 7P ●市民活動ネットワーク役員会報告 |
| 4P ●特別寄稿 災害に備える | 8P ●会員からの情報掲示板 あびこ市民活動ステーション |

令和元年度地域活動 はじめの一步講座

● 分科会の活動状況 ●

こども応援 団

「生きづらさ・引きこもり」の認識が大きく変わった日

昨年度に続き、
2019年12月1日
に「生きづらさか
らの大脱出 part2」
を開催しました。
当日は出演者4名、
大人71名、子ども
4名の合計79名が
参加されました。悠々ホルン氏の歌とお話に加え、
生きづらさと向き合いながら社会で働いている方、
自身が引きこもりから脱出した経験を活かし、
引きこもりから抜け出すきっかけを作る活動を
されている方々にお話をいただきました。

当日登壇していただいた方々は、共通して「自身の
辛い経験が、同じように生きづらさを抱える誰かの



役に立てれば」という気持ちをお持ちでした。辛い経験
や現状をプラスに転じさせるためのきっかけとして「自
身の経験が誰かの役にたつこと」がキーワードの一つに
ありそうです。今回の学びを今後どのように活かしてい
くのかを検討し、必要なアクションを起こしていけるよ
う取り組んでいきます。 (担当幹事 関口隆彦)



防 災 分 科 会

新木まち協の第2回避難所運営訓練

新木まちづくり協議会の第2回目の避難所運営
訓練が12月14日(土)午前、新木近隣センターで行
われました。防災分科会とあびこ市民活動ステーシ
ョンとが開催に協力。今回は同協議会から39名、
さらに我孫子市SL災害救援ボランティアネットワ
ークの方も加わり、合計54名が参加しました。

最初に講師の高野甲子雄さんが「避難所は一時的
な所、避難場所は生活の場になる所です。避難では、
命を守ることを一番に考えて、場所の最新情報を



つかみ、高齢者・障害者を優
先しながら全員が無事に避
難することが大切です」と話
されました。

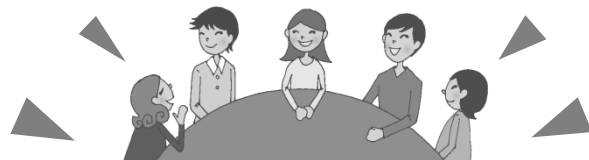


そのあと6班に分かれてテーブル上での避難所
の区割り、突発事態への対応などの訓練をしまし
た。「避難者カード」(写真上)で次々やってくる
避難者を区割りに応じて配置し、その間の「毛布が
不足」、「食糧が来ない」などの事態への対応を相
談しました。最後に各班の感想発表のあと、高野
さんが「災害時にはいち早く受け入れ態勢を作る
必要があり、そのためにはこういう訓練を通じて
地区の防災リーダーを作っておくことが大切で
す」と締めくくられました。当日参加者アンケート
では「大いに参考になった」が回答者の74%、
「部分的に参考になった」を加えると97%に達し
ました。 (担当幹事 多田正志・重田幸子)

● 地域包括ケア分科会より懇談会開催のお知らせ ●

昨年は、地域包括ケア分科会の主催で地域包括ケアに役立つ「日常生活困ったときガイド」の説明会を開催しました。今回は「地域共生社会づくりを考える～事例をもとに我孫子の福祉を知る～」をテーマに右記日程で懇談会を開きます。その内容は、事例をもとにワークショップを行い、行政から地域共生社会への取り組みを話していただき、市民や市民団体（NPO）が協力できることをさぐっていきますので是非ご参加ください。（担当幹事 吉田 充）

開催日	令和2年2月6日（木） 13時30分～15時を予定
場 所	あびこ市民プラザ 多目的ホール
参加申込	当日直接会場にお越しください。
参加費	無料 詳細はチラシをご覧ください。



なお、懇談会終了後に新年会員交流会を予定しています。例年は1月に開催していましたが、場所の都合で今年は2月になりました。会員等の情報交換で懇親を深めたいと思います。参加費は300円です。準備の都合上1月31日までに事務局（メール a23se@cocoa.plala.or.jp TEL080・3446・1845）にご連絡ください。

行政との 懇談会報告

昨年の11月13日に我孫子市役所分館 大会議室で懇談会を開催しました。

内容は、①新クリーンセンター建設事業 ②ボランティア・市民活動意識調査の中間報告と我孫子市市民公益活動支援指針の見直しについて、新クリーンセンター建設室長の佐野氏、市民活動支援課主任 森山氏からお話を伺いました。

新クリーンセンター建設事業

昭和48年に稼働したクリーンセンターは、老朽化により少ないときで1から2億、多いときで3億の維持管理費がかかるようになり、建て替えのために平成22年から柏市・我孫子市一般廃棄物広域処理研究会を設置し検討を始めました。しかし、両市の分別収集の在り方や放射能対策など相違点も多く平成26年2月に施設の共同設置を見送りました。平成27年から我孫子市単独での整備計画を進めてきました。廃棄物中間処理方式選定委員会を設置し、焼却灰を3段階で燃やすストーカ式焼却炉の導入を決定。平成29年には我孫子市新廃棄物処理施設整備運営方式等検討委員会を設置し、平成30年1月に新廃棄物処理施設整備詳細計画を策定。施設規模1日120tを焼却（現在は195tです。人口減を見越しています）。設計・建設期間は令和2年3月～令和5年3月末を予定し、主要設備は利根川氾濫に備え2階に設置しているそうです。建設費は116億6千万円で、令和5年4月から20年間の運営費は79億2千万円かかるようです。建設費は国からの交付金、地方債、基金取り崩しで賄う予定とか。

しかし、現クリーンセンターの解体工事費、リサイクルセンターの建て替えに多額の財源措置も将来必要になります。

人口を12万6000人と推計しており、今後焼却炉への負荷を減らすためにもゴミ減量対策への協力は必要になってくると思われます。令和5年に稼働する前に今後の方向性の共有が大切になると考えます。

ボランティア・市民活動に関する 意識調査等について

昨年8月に18歳以上の市民3000人を無作為抽出し、調査を実施したところ、1046名から回答がありました。現在集計中で今年3月までに報告書としてまとめる予定です。

調査の中で、どのような分野の活動に参加したいですか？の問いについては、①「まちづくり」②「保健・医療・福祉」③「芸術・文化・スポーツ」が上位3位を占めています。またどのような活動であれば参加しやすいですか？の問いには①「好きな時に参加できる」②「気軽に参加できそうな雰囲気がある」③「楽しそう、興味のある活動である」という回答が上位3位を占めています。

私たちもアンケート結果を踏まえ、今後の活動をどう考えて行くのかの参考になりそうです。

今年、我孫子市市民公益活動支援指針の見直し年です。見直しに向けてご意見があればネットワーク事務局までご連絡ください。（幹事 宇野 眞理子）

避難所まで移送のお手伝いをします

我孫子市役所社会福祉課

鈴木 将人

令和元年 10 月に発生した台風、豪雨災害において被災された方に心よりお見舞い申し上げます。

市の健康福祉部、子ども部は、要配慮者班として、災害時に避難勧告が発令された場合、ご自身やご家族では避難が困難な在宅の高齢者や障害をお持ちの方などに対して、避難所までの移送のお手伝いをしています。台風 19 号が発生した 10 月 12 日朝から翌朝にかけて、7～

8 人でシフトを組んで市役所西別館に待機し、要請に基づいて 4 件の出動がありました。待機中は、報道やインターネットでの情報収集に努めています。

大雨や地震など大規模災害時は誰でも不安になりますが、体が不自由な方は特に強い不安に襲われます。出動時にお会いした際には、少しでも安心していただくため、笑顔でいるよう心がけています。ただ、市の職員も冠水した箇所を乗り越えていけるわけではありません。避難勧告が発令された際は、お早目の避難を心がけていただくようお願いいたします。

取材

台風・大雨の被害と対応について

昨年の台風及び大雨災害について、市の状況を防災の担当である市民安全課に取材しました。取材の内容は次のとおりです。（取材担当 柳川眞佐子）

我孫子市では、昨年の台風及び大雨災害に際し、人的被害、住家被害が発生しました。市内では一部で窓ガラスが壊れたり大木が倒れたり、部分的に停電も発生するなどの被害がありました。

市は事前からの情報収集に努め、準備を整え対応しました。

① 9 月 8 日、9 日の台風 15 号では、市は情報収集本部を設置しました。被害については、残念ながら軽傷者 1 名、住宅の一部損壊が 31 件（1 月 7 日現在）です。

② 10 月 12、13 日の台風 19 号では、災害対策本部を設置しました。幸い大きな人的被害も住宅の被害もありませんでしたが、土砂災害や洪水のおそれがあったため、避難勧告を発令しました。市では避難所を最大 6 か所開設し、合計 300 名の方々が避難されました。

③ 10 月 25 日の大雨では、土砂災害が予想されたため、災害対策本部を設置しました。人的被害はありませんでしたが、床下浸水が 4 件発生しました。避難勧告の発令により、避難所を 4 か所開設し、避難者は合計 10 名でした。



▲台風 19 号で役割を果たした田中調節池

（我孫子市秘書広報課提供）

※日頃から「あびこハザードマップ」に目を通して、台風や豪雨による水害、大規模な地震の揺れや液状化などに備えるべく、危険箇所をはじめ、避難に必要な避難場所・防災関連施設などの確認をお願いします。



本会推薦委員報告

■ 審議会から市長に『第3次男女共同参画プラン推進に向けた提言』 — 男女共同参画審議会 委員 柳川眞佐子

10月8日、今年度第1回我孫子市男女共同参画審議会が行われました。3月に第3次我孫子市男女共同参画プラン(「我孫子市女性活躍推進計画」「我孫子市DV防止基本計画」を位置づけ)が策定されて初めての審議会です。主な議題は第2次プランの実績報告と第3次プランの進行管理で、男性の育児休暇などの課題と今後の女性の活躍推進などが報告されました。

審議会のあと、皆川満寿美会長から星野市長に『第3次男女共同参画プラン推進に向けた提言』が手渡されました。提言は、プラン推進にあたって特に市が力を入れてほしい点を、委員総員の意思に基づいて作られたもので、多様性を認め、持続可能な社会を目指すこと、国際的な動向、若年世代への啓発・配慮などが挙げられています。内容は市のホームページに掲載されていますのでご覧ください。

■ 公民館のありかた部会に参加して — 生涯学習審議会 委員 栗原祐子

我孫子市には湖北地区公民館(愛称:こほみん)、我孫子生涯学習センター(愛称:アビスタ)の二つの公民館があります。公民館は今でも、戦後にできた公民館法に運営を縛られる側面もあり、施設内での飲酒や販売の禁止等、今の市民の活動にそぐわない規制もあります。

この度、我孫子市民活動ネットワークから選出され生涯学習審議会委員であったこともあり、公民館のありかた部会員を要請され委員として参加しています。委員には生涯学習審議会委員経験者の他に有識者が参加して、それぞれの立場で発言をしています。中には、地域コミュニティに関心のある市民は少数派であり、特に若い世代の参加するコミュニティについては発想の転換が必要だとの意見もあります。

公民館のあり方を考える時、今後の生涯学習をどのようにとらえ、どう発展させていくのか、その中に市民活動やコミュニティの問題をどのように位置づけていくのかが問われています。こうした本質に迫る議論と提言を実現できたらよいと考えつつ参加させていただいています。

■ 我が事・丸ごと(地域共生社会)のもと各課の連携を強化 — 我孫子市第5次地域福祉活動計画 評価委員 富野 浩司

我孫子市社会福祉協議会の「第5次地域福祉活動計画」の第二回評価委員会は、市の健康福祉部各課長、大学教授、地域の福祉施設、市民団体、民生委員など12名を委員として迎え、令和元年11月8日に開催されました。

冒頭、湯下会長から「今年度は第5次地域福祉活動計画の中間年度であり、改めて事業の評価と見直しを実施することになっている。各委員の現場での経験を活かした意見、提言をいただき、本計画の進捗状況および評価をお願いしたい」との挨拶がありました。

主な議事として、平成30年および令和元年度中間事業の報告があり、市の委託事業である「生活支援体制整備事業」および「あびこ後見支援センター」を拡充事業とするなどの説明がありました。

また市からは、現在第6次保健福祉総合計画の策定中で、国の「我が事・丸ごと(地域共生社会)のもと各課を横断した連携を強化している」との説明がありました。後期計画は、今回の評価委員会、各地区社協事業の見直し等を踏まえ、次回評価委員会で説明するとのことでした。

■ SDGs(持続可能な開発目標)など4つの視点を踏まえて活発な意見交換 — 我孫子市総合計画審議会 委員 小田麻子

令和4年度からスタートする第四次総合計画の審議と、第三次基本計画の見直しをはかる委員会で、市民団体等からの選出者や学識経験者など25名で構成されています。委員の委嘱は3年で、今年度は計5回の会議があります。初回に我孫子の現状についてのレクチャーを受けました。また総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画を3本の柱で構成されるということも知り、とても有意義な機会を得ています。総合計画策定の視点は、①わかりやすい計画づくり、②市民等の参加による計画づくり、③持続可能な行財政運営を目指した計画づくり、④「地方創生」と「SDGs(持続可能な開発目標)」の4つで、これらを踏まえて審議を進めています。分科会でディスカッションを行うこともあり、皆さん、活気ある意見を出されています。今年度は2月にも会議があり、この1年で「第三次基本計画の見直し」策定を終える予定です。

ボランティア随想

◆私と市民活動◆

行政との協働による、マンパワーを創造する環境づくり活動

私が市民活動をするきっかけになったのは、定年になってから居場所を探すのは遅いと思い考えていたおり、レストランで、隣で楽しそうにお酒を飲みながら談笑している会話に釣られ、誘われるままに翌月「我孫子野鳥を守る会」の定例探鳥会に参加し、そのまま入会したのが始まりでした。私の市民活動はミズトリ（「ミ」に「酉」）が縁でした。

最初の定例探鳥会で見たカワラヒワに感激し、会の活動に毎回参加するようになりました。自然の中で野鳥との出会いは、会社の激務から解放され、新鮮で仕事にも役立ちました。私にとって野鳥観察は楽しく感動を与えてくれるものでした。会の行事に熱心に毎回参加しているうちに、会の活動の役割の一部を分担することになり、外部との対応を含め活動範囲が広がり、多くの人々との交流が増えてきました。

そうした中、いつの間にか会の代表を14年も続けることになりました。苦心したことは会の目的を実

我孫子野鳥を守る会 顧問 間野 吉幸



現するために、会員が行事に参加し、自然の中の野鳥を楽しみ、野鳥を愛する心を持つこと。そして常に変化することに腐心しました。「我孫子野鳥を守る会」は令和4年3月で50周年を迎えます。現在は後輩をバックアップする立場にあり、50周年事業の支援をしたいと考えております。

「我孫子野鳥を守る会」の活動をする傍ら、現在も我孫子市環境レンジャー、ジャパンバードフェスティバル、美しい手賀沼を愛する市民の連合会など環境関係や市民活動関係の行事に参画しています。今、後期高齢者になっても市民活動の中で自分の居場所があることは良かったと思っております。人のためにかく汗は、結局自分のためであったということでした。

会員自己紹介

令和2年スタート

我が街 我孫子

市民活動ネットワーク会員

宮川 かなえ



7月より市民活動ネットワークの会員になりました。

私は消防団員として活動していますが、当ネットワークの地域包括ケア分科会での活動にも参加しています。昨年9月には「白山おやじの会」の防災キャンプに参加しました。

また両親の介護を行ってきた経験もあります。

市民のチカラまつりでアドバイザーとして皆様をお迎えしました。

令和2年を迎えるにあたって、今年はますます多くの活動に参加をし、我が街・我孫子の地域に貢献すると共に、皆さんとのつながりと絆を強くしていきたいと思っています。

ニュース



高大連携企画 東葛エリア第3回ソーラークッカー大会
開かれる

© 2019.10.22

※ソーラークッカーとは太陽エネルギーを使った調理器具のこと



鳥・文化のハーモニー～を将来都市像とし、環境に優しい街づくりを目指しています。

このような背景のもとで、わたくしたち市民と市が協働して、地域固有のエネルギーである自然エネルギーを有効活用し“自然エネルギーを活用したまちづくり”をスローガンに平成27年11月に「自然エネルギーをすすめる我孫子の会」を発足させました。本会は市民の力を最大限に活用しながら、地元の産・学・官を含め幅広い技術、人材、ノウハウ、資金等を結集して活動を進めています。

令和2年2月2日（日）13:30より、水の館3階研修室で総会・講演会を開催いたします。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。詳しくはWebサイトをご覧ください。

自然エネルギーをすすめる我孫子の会

URL <http://shizen-energy.org/>



自然エネルギーをすすめる我孫子の会 ご案内

自然エネルギーをすすめる我孫子の会

幹事長 谷 辰夫

我孫子市は、北の利根川と南の手賀沼に囲まれた景勝地として知られ、自然に恵まれた環境にあります。我孫子市では“手賀沼のほとり、心輝くまち”～人・

あびこ市民活動ネットワーク役員会報告（令和元年10～12月度）

■10月度役員会（10月10日）

1、市民のチカラまつりを終えて

ネットワーク企画運営の「人生100年、定年後に“30年連休”！」

- アンケートの結果は1部、2部、3部とも70～80％が参考になった。
- 一般市民の参加が少なかった………関心が低い。
- 長寿大の参加者ゼロ。
- 近隣市から参加があった。

2、地域活動はじめての一步事業の進捗状況

①防災グループ

- 白山おやじの会主催の第2回防災キャンプを終えて。104名参加、会費500円…会費の一部を被災地に寄付した。

②子ども応援団グループ

- 生きづらさからの大脱出 part 2
～引きこもりをプラスに変換するマジックはこれだ～

③地域包括ケアグループ

- 高齢者と障害者や子どもを含めて企画したい。
- 2月ごろ意見交換会をしたい。
- 企画を含めて関係団体と話し合い。

3、懇談会開催予定の内容と担当について

- 開催日 11月13日(水)13時30分～16時15分
市役所分館大会議室
- 新規焼却施設の整備内容について 13時30分から1時間
新クリーンセンター建設室長 佐野 哲也氏
- 市民活動支援課との話し合い 14時～16時15分
【内容】アンケートの中間報告
市民活動指針の改定に向けての話し合い

4、会報の発行について内容を検討した。

5、1月の新年会員交流会の在り方について検討した。

■11月度役員会（10月14日）

1、現在の人材バンクは廃止する。

地域活動のためのポータルサイトづくり。

2、地域活動はじめての一步講座の進捗状況

①こども分科会 タイトル及び企画を検討

- 子ども応援団事業1：1／13
- 子ども応援団事業2：3／23

②防災分科会

11／10 ステーション高橋さんと打合せ

3、市民のチカラ2019ふりかえりの会の報告

来場者数：2日間で2139人

アンケート：おおむね満足

4、市民活動支援課との懇談会について

今後、市民活動支援課との日程調整を行う。

5、1月の会報の内容と分担の検討をした。

6、新年会員交流会について

場所の確保と日程調整について意見交換した。

7、嘉納治五郎銅像建立について

協力団体への加盟依頼には現状では対応できない

■12月度役員会（12月12日）

1、地域活動はじめての一步講座について

こども応援団事業

12月1日 参加者 79名

大人59名・こども4名・関係者16名

2、1月の会報発行リニューアルについて説明があった。

3、新年会員交流会の内容について

地域包括ケア分科会の懇談会を企画

2月6日(木) 市民プラザホール

4、総会日程と内容について検討した。

4月28日(火) けやき7F研修室

講演会と同時開催とし講師の選定と日程検討。

新年度事業と役員人事について意見交換した。

入 会 なし

編集室から ◆次号は4月15日発行予定です。会報に、催し、求人、他の会員への呼びかけなどの掲載を希望される場合は、事務局（メール a23se@cocoa.plala.or.jp）まで、3月末日までにご連絡ください。

◆アドレスご登録の会員には、この会報や、催しのご案内などをインターネットでもお届けしています。アドレスの新規登録をご希望の会員も上記にご連絡ください。

◆各団体の役員・担当者・連絡先等に変更があった場合は、その都度、あびこ市民活動ステーションにFaxにてご連絡するようお願いいたします。(Fax 04-7165-4370)

● 会員からの情報掲示板 ●

会員のイベントなどの情報を掲載するページです！



NPO 法人手賀沼トラスト講演会

今や安全・安心・持続的農業が大きな潮流、それを実現する新たな道を示します。

演 題	「保全しながら、生産する新たな道」
講 師	茨城大学教授 農学博士 小松崎 将一氏 (茨城大学農学部国際農学センター長)
日 時	2月5日(水) 9時～12時
会 場	けやきプラザ7階 研修室
費 用	無料
主 催	NPO 法人手賀沼トラスト
連絡先	事務局 富澤 崇 ☎090-2234-5610

エコライフアビコ

(我孫子市地球温暖化防止推進協議会)

会 員 10名(内女性2名)

活動内容：地球温暖化防止の呼びかけ。出前講座(一般市民、小学校)。イベント参加(市民のチカラまつり、ソーラークッカー大会、エコメッセージinちば、消費生活展)。その他事業(緑のカーテンコンテスト、家庭の省エネ診断、環境家計簿。

定例会 毎月第2土曜日 10時～12時

市民活動ステーション(大会議室)

直近事例 1月14日・16日 出前講座

3月26日(仮) 出前講座

2月1日・2日 消費生活展参加

2月8日 定例会で環境家計簿合評

5月6日(仮) 緑のカーテン講習会

5月9日 ゴーヤー苗プレゼント

会員募集 何方でも参加できます。定例会に直接おいで頂るか☎04-7181-5036 深山まで。

あびこ市民活動ステーションからのお知らせ

新年明けましておめでとうございます。

本年3月で3年間の指定管理期間満了となりますが、引き続き4月から令和7年3月までの5年間、管理運営させていただくことになりました。団体の皆様とともに、市民活動で我孫子のまちを活性化したく今後どうかよろしくお願い申し上げます。

利用者懇談会で

ご意見を聞かせてください

今回はこの3年間をふりかえって、ご意見・ご感想を頂ければと思います。また、今後5年間の事業方針についてご説明させていただきます。知っていると役立つスマホ・ミニ講座付きです。

<日 時> 1月18日(土)

13時30分～15時45分

<会 場> あびこ市民活動ステーション
大会議室

<内 容> 13時30分～14時30分
施設・事業についての説明と意見交換
14時45分～15時45分
スマホの便利ワザ講座
(Google 翻訳、Google map)

<定 員> スマホ・ミニ講座のみ20人まで。
要申込。☎04-7165-4370

備品利用更新の時期になりました

ロッカー・私書箱・メールボックスの利用更新手続きが始まります。

<更新期間> 1月15日(水)～3月20日(金)

<支払い期間> 4月1日(水)～4月30日(木)

<料 金(年間)> 大ロッカー2300円

中ロッカー1500円

私書箱1200円

メールボックス無料

